

昭和40年代 — それは日本のエネルギー政策の“迷走”によって
炭鉱で多くの犠牲者を出し、北海道から石炭が消えていった時代。

炭鉱災害の現場で実況中継をしていた

元NHKアナウンサーが当時の街と人と企業のリアルを今に伝える
心揺さぶるノンフィクション！ これは“過去の話”ではない——。末利光 著
すえ・としみつ

石炭挽歌

せきたんばんか

NHK 札幌放送局
〈炭鉱事故〉担当アナウンサーの記録四六判上製 264頁 定価：本体2300円＋税（税込2530円）
ISBN978-4-909281-69-2 C0036

2025年4月下旬刊



目次より

はじめに

プロローグ

第1章 美唄 — 1968年

第2章 赤平 — 1969年

第3章 赤平 — 1970年

第4章 廃墟

第5章 事故の科学

第6章 落盤と山はね

第7章 北海道大学鉱山工学科

第8章 北炭夕張第二鉱と太平洋

炭鉱の中へ — 1967年

第9章 1965年の北炭ガス爆発

事故の裁判記録から

第10章 石炭産業の衰退

第11章 石炭政策の失敗

第12章 生産性の優先

第13章 撤退

第14章 朝鮮人労働者と組夫

第15章 閉山

第16章 女性たち

第17章 再生の兆し

— 三菱大夕張炭鉱、1970年

第18章 何でもやる

第19章 激動の昭和47年

— 1972年

第20章 夕張、再び — 1983年

あとがき — 1983年

あとがきのあとがき — 2024年

末利光（すえ・としみつ）—— 1932年（昭和7年）、東京生まれ。早稲田大学文学部ドイツ文学科卒業。

1958年、NHKに入局、アナウンサーとなる。初任地である北海道帯広局の後、東京・札幌・甲府・仙台・岡山の各局に勤務。その間の1979年に、企画参加・出演・ナレーションを担当した短編映画「地方病との闘い」が第20回科学映画祭で科学技術長官賞受賞。1989年に講師・二代目神田山陽より真打を許され「神田山陽（かんだこうよう）」を名乗る。

1991年、甲府市長選出馬のためNHK退職。1995年より13年間、笛吹市春日居郷館・小川正子記念館館長を務め、現在は名誉館長。山梨県立女子短期大学、調布学園女子短期大学、ウィーン大学日本学研究所などで日本語表現と日本文化について講師を務める。2019年、2020年に長編舞台講談「武田勝頼の妻・花園」を東京と山梨で開催する。

著書に『甲州庶民伝 上・下』（NHK出版）（テープ48巻の企画・編集・朗読を担当）、『ことばのおへそ』『間の美学——日本的表現』（三省堂）、『クリーン選挙わたしの闘い』（講談社）、『ハンセン病報道は真実を伝え得たか』（JLM出版）、『コロナに翻弄された家』（毎日新聞社）、『信玄かたる（再版・信玄公かたる）』『昭和史かたる』（自費出版）など。

* 本書は地方小扱いですので一部の書店を除き新刊記本はありません。必ず事前のご予約（ご注文）をお願いします。

寿郎社 FAX011-708-8566まで

（注文短冊）

流通センター 取扱品 書店名（番線）	発行所 寿郎社	編著者名 末利光 著	本体価格（税抜） 2300円	発注日 月 日
	注文数 冊	書名 石炭挽歌 NHK 札幌放送局 〈炭鉱事故〉担当アナウンサーの記録 ISBN978-4-909281-69-2		
御担当者名	個人注文票 お名前	個人が注文する場合は①冊数②お名前③郵便番号／ご住所④電話番号をここに書き、書店にお持ちいただくか寿郎社までFAXでお送りください。寿郎社にご注文いただいた場合は1冊300円の送料がかかります。	郵便番号／ご住所 □□□-□□□□	電話番号 ()